

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	H29上下水道局
	政策	豊かな暮らしを支える生活環境の向上		課(室)名	H29水道整備課
	施策	水の安定供給		電話番号	087-839-2741
	基本事業	安定給水の確保		事業実施主体	市
	事務事業	(企業会計)水道配水管網整備事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	安全で良質な水道水を安定的に供給するため、水道施設整備事業計画(平成23年～平成42年)に基づき、配水管未整備路線への配水管の整備や老朽配水管の更新を行うとともに、震災等の非常時に備えたバイパス管の整備、合併町間との相互連絡管の布設や未給水地区の解消等の配水管整備を効率的、効果的に実施する。延長7,400m、相互連絡管の布設旧市～合併町及び合併町間12路線を整備、総延長9,950m、目標年度30年度、未給水地区の整備21年度以降の計画延長				
	【企業団に移行して実施】 30年度 配水管布設工事 口径75～800mm 3,850m うち・未給水 口径50～150mm 700m 概要 配水管布設替工事 口径75～800mm 5,750m 配水管布設(単独工事)出水不良解消、下水関連、移設等 1,147m				
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	事務事業の類型	インフラ・施設等整備	

【事業の目的】

対象(何を)	未給水地区、幹線道路などの配水管未整備路線、各合併町との連絡路線、優先順位の高い老朽管路線、出水不良地区及び下水道整備路線。
意図(どのような状態にしたいか)	配水管未整備路線の解消、経年管の老朽化等による漏水事故対策、出水不良地区等を解消するとともに、震災、湧水等の非常時に備えるため配水管の耐震化を図る。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
毎年度の布設・布設替延長	m		14,167	17,359	13,647	13,647

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標	総布設・布設替延長(水道配水管)	m	目標値		2,179,981	2,186,181	2,191,931	2,191,931
			実績値		2,183,241	2,190,888		
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							(達成度)
	水道施設整備事業計画に基づき概ね達成できている。	(目標達成度)						
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							(達成度)
		(目標達成度)						

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
トータルコスト	[円]	1,554,202	2,131,392	2,133,986	2,007,562
(事業費)	[円]	1,302,699	1,883,330	1,887,102	1,759,500
(職員人件費)	[円]	251,503	248,062	246,884	248,062

【評価】

評価ランク (A～D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	----------	---------------------------	-----------

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

老朽配水管の更新による耐震化率の向上を目指すとともに、財政面との整合性を図りながら、効率性・経済性に考慮して、優先順位の高いものから計画的に行った。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

より安定性の高い管路網の整備を実現するため、水道施設整備事業計画に基づき、管路管理システムを利用した、配水管網の再評価を行い、効率性・経済性を考慮して優先順位が高いものから推進する。

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	H29上下水道局
	政策	豊かな暮らしを支える生活環境の向上		課(室)名	H29浄水課
	施策	水の安定供給		電話番号	087-839-2751
	基本事業	安定給水の確保		事業実施主体	市
	事務事業	(企業会計)自己処理水源確保事業(浄水場整備等)		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	水道施設整備事業計画に基づき、椋川ダム水等の新規自己処理水源を確保するとともに、新規水源に適合するように各浄水場の浄水施設整備を行い、自己処理水施設の充実を図り、水道水の安定給水を推進します。 椋川ダムからの取水 9,000m ³ /日(平成33年度～)
-------	---

30年度概要	【企業団に移行して実施】 施設整備事業費 御殿浄水場整備事業 浅野浄水場整備事業 川添浄水場整備事業			
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	事務事業の類型	インフラ・施設等整備

【事業の目的】

対象(何を)	水源及び浄水場
意図(どのような状態にしたいか)	ダム水等の自己処理水源を確保するとともに、自己処理能力の充実を図るため、各浄水場施設を水源に適合するように整備し、市民への安定給水を行う。また、浄水場施設の設備が常に正常に機能することにより、浄水処理が正確に行え、安定給水を図る。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
自己処理水源確保量	m ³ /日		87,150	87,150	87,150	87,150
自己処理水量	km ³		22,150	22,084	21,298	21,298

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標	自己処理水比率	%	目標値		44.6	45.3	45.3	45.3
			実績値		45	44.8		
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							(達成度)
	全配水量に対する自己処理水比率を上げ、早明浦ダムを水源とする香川県営水道用水の受水量を減らすことにより、水道水の安定給水を行うことができる。 (目標達成度)							98.9% 34点
成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
トータルコスト	[円]	2,974,706	2,600,179	2,012,708	1,411,297
(事業費)	[円]	2,832,681	2,452,142	1,865,374	1,263,260
(職員人件費)	[円]	142,025	148,037	147,334	148,037

【評価】

評価ランク (A～D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	----------	---------------------------	-----------

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

ダム等自己処理水源の確保に努めるとともに、老朽化が進んでいる浄水施設の計画的な更新・耐震化を進める。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

昨年度に見直した浄水施設の更新計画に基づき、老朽化が進んでいる施設の更新・耐震化を進める。

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	環境局
	政策	豊かな暮らしを支える生活環境の向上		課(室)名	環境総務課
	施策	水の安定供給		電話番号	087-839-2388
	基本事業	安定給水の確保		事業実施主体	市
	事務事業	生活用水等確保対策事業補助事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	高松市水道事業の給水区域外に居住する人に対し、飲用水の安定的な確保を図るため、井戸など自家用給水装置の新設・改修に要する費用や、給水ホース・貯水用タンクの購入費用の一部を補助し、水の安定供給や公衆衛生の向上を図る。 ○生活用水確保対策事業（補助金の上限額） ・給水装置の新設・改修：対象事業の2分の1以内の額、30万円を上限 ○飲用水給水ホース等購入補助金（補助金の上限額） ・給水ホース：購入価格の9割以内の額、5万円を上限 ・貯水用タンク：購入価格の2分の1以内の額、2万円を上限		
	30年度概要 高松市内における香川県広域水道企業団水道事業の給水対象外の区域に居住する人に対し、自家用給水装置等の費用の一部を補助し、自己の用に供する飲用水の安定的な確保を図る。		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	

【事業の目的】

対象（何を）	高松市水道事業の給水区域外に居住する人
意図（どのような状態にしたいか）	水道事業の給水区域外に居住する人について、飲用水の安定的な確保を推進することで、水の安定供給や公衆衛生の向上を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
生活用水確保対策事業補助件数	件		1	0	2	2
飲用水給水ホース等設置事業補助件数	件		0	0	1	1

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
	生活用水確保対策事業補助累積件数（21年度以降）		件	目標値		11	13	15
			実績値		11	11		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）	補助金の交付申請がなかったため未達成。 (目標達成度)							(達成度) 84.6%
								29点
飲用水給水ホース等設置事業補助累積件数（21年度以降）		件	目標値		3	4	5	5
			実績値		2	2		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）	補助金の交付申請がなかったため未達成。 (目標達成度)							(達成度) 50.0%
								17点

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[円]	5,374	5,064	3,794	4,444
（事業費）	[円]		353	0	650
（職員人件費）	[円]	5,374	4,711	3,794	3,794

【評価】

評価ランク（A～D）	C	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

昨年度は、補助金の交付実績なし。
当事業を平成21年度に開始してから10年近く経過しているため、補助申請の件数は減少傾向にある。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

引き続き、広報紙等で当事業の周知を行い、給水区域外に居住する人の飲用水の安定的な確保を図るものである。

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	豊かな暮らしを支える生活環境の向上		課(室)名	河港課
	施策	水の安定供給		電話番号	087-839-2522
	基本事業	安定給水の確保		事業実施主体	県
	事務事業	桜川ダム整備事業（建設事業）		事業期間	平成28年度～平成33年度

【事業全体概要】

事業の概要	・桜川ダム建設事業 本市の自己水源の確保を図るため、二級河川香東川支流の桜川に香川県が整備する治水、利水、渇水時の水源機能を持つ多目的ダムの建設に対して、その費用の一部を負担する。				
30年度概要	桜川ダム整備事業費 桜川ダム整備事業出資金 桜川ダム水源地域県道 道路新設改良事業地元負担金 桜川ダム水源地域道路				
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	6-	事務事業の類型	インフラ・施設等整備

【事業の目的】

対象（何を）	桜川ダム
意図（どのような状態にしたいか）	・香東川水系の治水安全度の確保 ・自己水源比率の増加 ・渇水時の安定給水

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
出資額支出件数	件		1	1	1	1

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標	ダム本体整備率	%	目標値		55.2	62	76.2	76.2
	実績値			51.3	53			
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）	香川県が施行するダム建設の本体整備計画に対し、概ね計画どおり整備できた。						(達成度)
								85.5%
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）	(目標達成度)						29点
								(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[千円]	187,246	259,055	389,900	771,897
（事業費）	[千円]	185,711	255,444	388,003	770,000
（職員人件費）	[千円]	1,535	3,611	1,897	1,897

【評価】

評価ランク（A～D）	B	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

県において、ダム本体建設工事についての施工工程の調整をしているところであり、引き続き、事業推進に協力していく方針である。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

改革案なし

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	H29上下水道局
	政策	豊かな暮らしを支える生活環境の向上		課(室)名	H29浄水課
	施策	水の安定供給		電話番号	087-839-2751
	基本事業	安定給水の確保		事業実施主体	市
	事務事業	(企業会計) 桜川ダム整備事業		事業期間	平成28年度～平成33年度

【事業全体概要】

事業の概要	本市の自己処理水源の確保を図るため、香川県と共同施工にて多目的ダムである桜川ダムを建設し、利水負担分を支払うものである。
-------	--

30年度概要	桜川ダム整備事業(6,230,000千円)の16.1%(利水負担分) 【企業団に移行して実施】
--------	--

重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	6-	事務事業の類型	インフラ・施設等整備
--------	------	----------	----	---------	------------

【事業の目的】

対象(何を)	桜川ダム
意図(どのような状態にしたいか)	新たな水源を確保し、平常時はもとより渇水時においても、安定給水を図る。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
負担額支出件数	件		1	1	1	1

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
ダム本体整備率	%	目標値		49	60.9	76.2	76.2
		実績値		49	62		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) ダム整備事業により自己処理水源を確保し、通常時はもとより渇水時においても、水道水の安定給水を行うことができる。 (目標達成度)							(達成度) 101.8% 35点
成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
		目標値					
		実績値					
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
トータルコスト	[千円]	372,678	844,440	918,496	1,003,830
(事業費)	[千円]	371,910	843,640	917,700	1,003,030
(職員人件費)	[千円]	768	800	796	800

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

ダム整備事業による自己処理水源の確保は、お客様への水道水の安定供給に欠かせないものであるため、一刻も早い完成を目指す。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

昨年度に見直した事業費、工期に基づき、今後も水道水の安定供給のため、早期完成を目指す。

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	H29上下水道局
	政策	豊かな暮らしを支える生活環境の向上		課(室)名	H29企業総務課
	施策	水の安定供給		電話番号	087-839-2711
	基本事業	安定給水の確保		事業実施主体	県
	事務事業	(企業会計)香川県水道広域化推進事業		事業期間	平成28年度～平成29年度

【事業全体概要】

事業の概要	将来にわたって安全な水道水を安定的に供給するため、香川県広域水道事業体検討協議会において、県内水道広域化の業務運営施設整備及び水道料金の取扱いなどの基本的事項がとりまとめられたことを踏まえ、27年4月からは、香川県広域水道企業体設立準備協議会を設置し、県内水道広域化に向けて具体的な検討を行い、平成30年度からの香川県広域水道企業団(仮称)での事業開始を目指す。
-------	---

30年度概要

重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	6-	事務事業の類型	ソフト事業(法律による実施義務無)
--------	------	----------	----	---------	-------------------

【事業の目的】

対象(何を)	香川県及び県内16市町の水道事業体
意図(どのような状態にしたいか)	人口減少に伴う料金収入の減少、施設の老朽化に伴う大量更新や水道職員の大量定年退職による技術力確保の問題さらには、頻発する湧水対応など、県内水道事業者が抱える様々な課題を広域化により対応できるよう、香川県広域水道企業団(仮称)を設置する。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標H30
香川県広域水道事業体設立準備協議会開催数	回		3	1		3

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標H30
成果指標	香川県広域水道企業団(仮称)設置進捗率	%	目標値	30	60	100		100
			実績値		60	100		
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 29年8月の香川県広域水道事業体設立準備協議会において、水道事業等の統合に関する基本協定が締結され、29年11月香川県広域水道企業団が設置された。 (目標達成度)							(達成度) 100.0%
								35点
成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標H30
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
トータルコスト	[円]	15,181	15,347	73,849	
(事業費)	[円]	7,800	7,345	57,921	
(職員人件費)	[円]	7,381	8,002	15,928	

【評価】

評価ランク(A~D)	A	今後の方向性(拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	完了
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

29年度は協議会を8月に開催し、水道事業等の統合に関する基本協定を締結し、29年11月に企業団が設置された。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

協議会は所期の目的を達成したため各構成団体での議会の議決を経て30年3月31日をもって廃止した。